

新採教師からの報告(2010.4.11)
きつくてもやりがいと楽しさを感じられる毎日

【教師】 2010年4月より 高等学校に新規採用教師として赴任
昨年、教員採用学習交流講座に参加

【発信】 2010年4月11日 山口正あてにメールを発信

私の「先生生活」を報告いたします。
赴任した学校は想像以上に忙しく、土日を休まないと体がガタガタです。
体力的には正直かなりきついですが、きつくてもやりがいと楽しさを感じられる毎日を過ごしております。

楽しさの源は、「職員の連携、暖(温)かさ、機動力」です。

私は、講師時代、常々職員室の雰囲気疑問を抱いており、職員同士の関係の希薄さ、引いては学校全体の熱意の欠落が、生徒にも伝わり、学校の楽しさ、勉強への意欲が失われてしまっているのではないかと感じておりました。

しかし、この高校では、今年を「変革期」とし、管理職員、現場職員一丸となって徹底的に「高校を変えよう!!」という熱意に満ち溢れています。

このような熱意ある職員の方と一緒に仕事をすることは、自分にとって勉強になることもたくさんありますし、またやる気がモリモリ沸いてきますね。

私の高校の生徒は、勉強のレベルは、「下の中」くらいで、基本的な生活習慣が身につけていない生徒が多いのです。ですが、根はいい子が多く、ことに一年生はきちんとした子が殆どです。

それが、部活に入り、学校に慣れてくると、先輩達に流されて、だんだん悪くなってしまい、勉強もついていけなくなり...という悪循環に飲まれてしまうのですね。

ですから、私たち一年の学年団は、今年一年生は徹底的にきちんとした学校生活を身につけさせるよう、さまざまな工夫を凝らしています。

まず、教室に学校改革の目標をバーン!と掲示しました。

これまで、のイメージは、「着くずして、茶髪で、不良っぽい頭の悪い生徒」というレッテルを近隣住民から貼られ、最悪なイメージが定着していました。

そこで、我が校の目指すところは、まず生徒一人ひとりの意識を変えることにありました。

この目標を生徒に示し、生徒に学校という場を意識させることが、意外に効果があり、「僕が、私が学校を変えるんだ!!」という意気込みの生徒がたくさん出てきたのです。

そして、だらしのない生徒は徹底的にしばきあげます。(笑)

茶髪、ピアス、ネクタイリボン忘れ、スカート短い女子、ズボン下げの男子、遅刻、そして教師(大人)をなめている生徒..... 多分どこの学校にもいると思いますが、彼らを学年団全員で諭します。

具体的には、だらしのない生徒を一人ずつ職員室に入らせ、我々教師が該当生徒をぐるりと取り囲みます。逃げないように+威圧感もこめて(?)「なぜルールを守らねばならないのか」ということを徹底的に教え込みます。静かに恐ろしく言う場合もありますし、度重なるとガンガン恐ろ

しく言う場合もあります。

そのほかにも、学年団や職員全体で何度も話し合いや工夫を凝らしている為、毎日8～9時帰宅になってしまうのです。

学校という場所は、大きく分けて二つのことを学ぶ場所だと思います。

一つは「勉強」、もう一つは「ルールを守ることを学ぶ」です。

講師経験時の頃から、多くの学校が、後者がやや放置気味、もしくは甘いように感じていました。

では職員全員が「生徒指導部」のような厳しさでやっていますので、だらしのない生徒にとっては、相当こたえているようです。

ですが、この「厳しさ」こそ、「生徒が求めていたもの」でもあるようです。

一年に「数日間、 で過ごしてどう感じたか」という作文を書かせたのですが、

「先生達の熱意に安心した。3年間きちんと頑張りたい。」

「厳しいようだけど、先生達の言っていることは、どれも当たり前なことだし、大人になるうえで大事なことだと思う。」

「茶髪を叱られたけど、なぜいけないのかよくわかった。」

など、真面目な生徒も、最初にちょっと叱られた生徒も、しっかり前進しているように感じます。

* * *

また機会がございましたら、 にこのような教師がいるよ！と、是非先生からみなさんにお伝えください。

それから、受験者となる講座のみなさんに、本当に「面接」に力を入れるよう、お伝えください。採用試験で面接を重視する理由が仕事をしてみてわかりました。人前で、オドオド、ドキドキ、緊張で話せない...では、とてもつとまる仕事ではないです。

そしてオドオド、ドキドキをクリアーできていても、いかに自分の考えが確立できているかが重要になってくると思います。

この数日間、実際、生徒指導にあたって、生徒に語るときに感じましたが、「先生はこういうことを考えているんだよ。こういうことをあなたに学んでほしいんだよ」ということを、生徒に熱意をもって語るには、まず自分が、授業について、校則について、学校生活についてをどう考えているのか、確立した考えをもっていないと語れないと思いました。

初任者でも、こういう指導の場面にすぐ出くわします。「事務的なこと」だけは、初任者として扱っていただけますが、「先生」としては、初任者だからって、初任者としては扱ってもらえません。

長くなりました。また近況報告いたします。

高校教諭